

J H F 理事会議事録

日 時： 2015年3月5日(木) 14:00~19:00

場 所： J H F 事務局会議室（北区中里1-1-1-301）

1. 議長・議事録作成人名

議長： 安田英二郎 議事録署名人：出席理事監事全員

2. 定足数確認

出席者：出席【理事】 芦川雄一郎 内田孝也 大沢 豊 鹿山 登 工藤修二

塩坂邦雄 殿塚裕紀 福永信也 安田英二郎

【監事】 市川 孝 岩村浩秀

（出席理事9名。今理事会は定足数を満たし成立した）

3. 審議事項

審議事項4-1 2015年度事業計画について

安田副会長より事業方針の説明、内田会長より具体的計画案の説明があった。事業方針としては、ハング・パラグライディング人口増加、教員のレベルアップに対する教育や支援、安全対策に注力していくことを提案。審議、確認、修正後2015年度事業計画として採決。3月末迄に正会員へ報告し、内閣府へ提出します。

採決の結果、【賛成8 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 芦川、内田、大沢、鹿山、工藤、塩坂、殿塚、福永

審議事項4-2 2015年度予算について

内田会長より事業予算案（収入、支出予算書）についての説明があった。事業計画に基づいた予算案で審議、収入詳細で過去と異なる費目分割に変更修正後、採決。3月末迄に事業計画と共に正会員へ報告し、内閣府へ提出します。

採決の結果、【賛成8 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 芦川、内田、大沢、鹿山、工藤、塩坂、殿塚、福永

審議事項4-3 2015年度HG日本選手権開催地承認について

大沢理事より2015年ハンググライディング日本選手権は、茨城県足尾エリアにて9月19日～23日に開催することの説明があり議決しました。

採決の結果、【賛成8 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 芦川、内田、大沢、鹿山、工藤、塩坂、殿塚、福永

審議事項4-4 スクール・エリア、クラブ登録について

内田会長：スクール・エリアの登録については、適時申告があればJHFのデータベースの修正、追加を行って来ました。制度委員会でスクール登録規程を今の時代に合うように直し、エリアやクラブの登録について規程がなかったので、スクール登録規程に合わせて、エリア登録規程も作成しました。文書理事会で諮ったのですが成立しませんでした。

福永理事：質問として挙げたのは、管理者経歴及び資格等を入れてはどうかということと、規程でも助教員でも登録可にする意味についてです。

内田会長：管理者の経歴については公開する際に個人情報あまり集めたくないのと、助教員については、助教員だけがいるスクールも登録可能に変えます。制度委員会では地方に一過性の場合もありますが、教員が不在や現実に助教員みのスクールが存在するので、できるだけ多くのスクールにJHFに申告、登録をしてもらいたいと言っています。公開時に助教員のみということも提示します。必ず連絡を取れる所を条件、2年毎に連絡を取る義務も入れています。

大沢理事：このまま成立すると吹流しはすぐ作れるのですか？作業するには時間がかかりますね。

内田会長：準備して発送することになります。ウェブは今迄と同じ手作業になるとは思います。

岩村監事：助教員だけでスクールをやって良いというのはJHFとして認めるということですか？一過性で認めるということですか？

工藤副会長：登録だけでしょうか？登録だけなら良いでしょう。

議長（安田副会長）：登録をしたらメリットを与えるということですから。

芦川理事：申請は間接的に教員が出している実態を掲示の時にいせよよいのではないですか。

内田会長：以前は格差があった教員、助教員の検定項目や能力については、技能証規程の改善の中で助教員も教員と同じ教育、検定を受けていると制度委員会は言っています。

岩村監事：助教員だけのスクールをJHFとして認定するのはいかがなものかとは思いますが。

大沢理事：地方によっては助教員ばかりの所もありますから。

議長（安田副会長）：助教員だけのスクールを排除すると登録できなくなって実態を掴めなくなるので、とりあえずは助教員だけのスクールも入れて、運用して問題が出れば理事会決議で変えればよいだけです。

塩坂理事：そのスクールはどの教員が認定資格を持っているかを記載すればよいと思います。

内田会長：認定というとJHFがお墨付きを与えることになります。こういう事実がありますと登録しかしません。それ以上はしません。

塩坂理事：吹流しを作るのに予算は組んであるのですか？

内田会長：制度委員会はその予算については言及していません。

議長（安田副会長）：登録スクールの条件を整備しようということですから、ここで決めるのは規程ですので決議します。

採決の結果、【賛成8 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 芦川、内田、大沢、鹿山、工藤、塩坂、殿塚、福永

審議事項4-5 学生フライヤー連盟新歓チラシ印刷について

内田会長より、日本学生フライヤー連盟より新歓活動に使うチラシ印刷補助の依頼について説明があった。殿塚理事より、2014年度の学生連盟への補助金額の質問があった。

内田会長：2014年度は、通常の年間300千円の他に、4月体験会へ16千円、安全セミナー5回100千円、関西の新歓写真展に40千円を支払っています。

殿塚理事：2013年度のチラシはいくらかかったのですか？

内田会長：14万円位です。

殿塚理事：インターネットで見っていますが、1万枚で裏表カラー1万5千円です。どうして9千枚で14

万円なのですか？

内田会長：デザインは同一ですが、差込印刷で学校毎に連絡先が違って印刷しました。

福永理事：関東、関西以外からも申請があったら補助するかと思いますがバランスも必要だと思います。

内田会長：今回は前回と同じようにしないで全校同じレベルで出来るようにします。

殿塚理事：補助金30万の内訳は見ていません。

内田会長：毎年補助金を出す前に決算書等報告をもらっています。

殿塚理事：その30万円の補助金から印刷出来るのではないですか。最近申請がすぐ出て来るので普段の活動決算書も見せてください。

内田会長：総会では30万円の補助金を上げる話も出ましたが、それはしないで企画書毎に理事会で判断をして補助金を出すことを決めるとしています。

岩村監事：来年の予算書で学生連盟へ30万円ですが決算予測は56万円になっています。

殿塚理事：教員検定会積立に30万は減らせるのではないかという時に、学生に50万位というのはバランスがどうかと思います。現時点でフライヤー年齢別だと平均年齢は50代です。今後も新歓に向けて学生を増やすにしても費用対効果も考えた方がいいと思います。

福永理事：関東、関西で活発な所にだけお金を振り分けている感じなので、その他は県連とかも含めて活動が必要かも知れませんね。

議長（安田副会長）：一番安い料金で2万円位で補助してあげるかどうかですので決めましょう。

採決の結果、【賛成8 反対0 棄権0】で可決された。

賛成： 芦川、内田、大沢、鹿山、工藤、塩坂、殿塚、福永

5. 協議事項 ...ありませんでした。

6 報告事項について 下記それぞれ以下のとおり報告された。

6-1 パラグライダーパンフレットについて

6-2 日本体育協会加盟によるJHF活動の評価検討報告・正会員アンケート

6-3 予算実績表について


6-2 現金・預金・郵便振替等残高証明


6-3 フライヤー会員登録・技能証発行実績

この議事録が事実と相違ないことを確認し記名押印する。（出席理事）

理事

芦川雄一郎 

内田孝也 

大沢 豊 

鹿山 登 

工藤修二 

塩坂邦雄  印

殿塚裕紀  印

福永信也  印

安田英二郎  印

監事

市川 孝  印

岩村浩秀  印

議事録作成：桜井加代子